

気候変動に備える地域の作物生産 —産官学で支える新潟の農業—

日時 令和7年9月21日（日）
9:30~12:30（受付9:00~）

場所 WEB・会場のハイブリッド形式
【WEB】 ZOOM（WEBでの参加は300名まで）

【会場】 新潟大学五十嵐キャンパス
総合教育研究棟B棟 E260講義室

参加申し込みメ切 令和7年9月16日（火）17:00まで
参加申し込みは一番下のQRコードから行ってください

※一般の方向け、参加費 無料

話題提供

「地球温暖化と異常気象の現況」

「新潟県における水稻の高温対策の取り組み」

「温暖化が変える麦のかたち」

本田明治（新潟大学）

堀 武志（新潟県農林水産部）

島崎由美・下田星児

・池永幸子（農研機構）

「JAえちご上越における新潟産えだまめの生産拡大」

丸山豊孝（JAえちご上越）

「多収米を活用した低コスト生産のモデルについて」

松田彩友美（ヤンマーマルシェ）

コーディネーター 石丸 努（農研機構）

異常高温が常態化する中で、新潟県が日本全国に誇る特産農産物であるコメやエダマメ、県民からのニーズが高いムギについて、気候変動が作物生産にどのような影響を及ぼしているのか、また産官学が地域の農業を支えるためにどのような高温対策やブランド化戦略を行っているか、課題と最新の技術をお届けします。

シンポジウム会場はこちら



キャンパスマップ上のS10です

参加申し込みはこちら

参加申し込み 一般公開シンポジウム
「気候変動に備える地域の作物生産—
産官学で支える新潟の農業—」



NARO 農研機構

真の強さを学ぶ。
新潟大学
NIIGATA UNIVERSITY

共催：農研機構中日本農業研究センター
後援：国立大学法人新潟大学